レジメン登録フォーマット

申請年月日		使用開始日	平成27年1月1日		
登録診療科	耳鼻咽喉科	申請医師		化学療法委員会承認年月	平成　　年　　月
レジメン名	アービタックス+Radiation（頭頸部がん）【初回】				
疾患名	頭頸部がん	適応の備考	アービタックス初回患者の1コース目の計画登録にはこれを用いる。放射線療法は2コース目から併用する。		
適応分類	進行再発		アービタックスをすでに使用している2回目以降の患者の登録には、アービタックス＋Radiation（頭頸部がん）【2コース目以降】を使用すること。		
1コース日数	7　日間	総コース数	1　コース	催吐性リスク	最小度
抗がん剤投与量・投与日	アービタックス400mg/㎡　day1				

治療スケジュール　・　投与日程（投与日は●）

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7
1	主ルート	生食50mL	1 本 / body	30 分	●						
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2mL	1 本 / body		●						
		ポララミン5mg	1 本 / body		●						
	デキサート注は、3.3mgでも可										
2	主ルート	生食250mL	1 本 / body		●						
	点滴静注	アービタックス	400 mg / ㎡	2 時間	●						
			/								
3	主ルート		/								
	点滴静注	生食100mL	1 本 / body	1 時間	●						
			/								
4			/								
			/								
			/								
5			/								
			/								
			/								
6			/								
			/								
			/								
7			/								
			/								
			/								
8			/								
			/								
			/								
9			/								
			/								
			/								
10			/								
			/								
			/								

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。（例：Rp2とRp3を同時に投与開始する。）

【投与上の注意】

アービタックス：希釈は生食のみ。総液量を250mLに調製。
アービタックス：前投薬として,アービタックス投与の30分前に、ポララミン注、デキサート注投与が必要。
アービタックス：投与終了後は、infusion reactionを観察するため、1時間の観察時間が必要であり、単独投与の場合はアービタックス投与後生食100mLを1時間かけて滴下する。
アービタックス：投与終了後は、本剤と同じ速度でラインを生食でフラッシュすること。
アービタックス：初回投与時は、400mg/㎡を2時間かけて投与、2回目以降は250mg/㎡を1時間かけて投与すること。
アービタックス初回患者の1コース目の計画登録にはこれを用いる。
アービタックスをすでに使用している2回目以降の患者、2コース目以降の登録には、アービタックス＋Radiation（頭頸部がん）【2コース目以降】を使用すること。
2コース目（day8）から放射線療法を併用する。